

2022年1月19日(水)第三水曜祈祷会

申命記4:1~24

「近くにおられる主」

■申命記の概論 \*ヨルダン川を前に、モーセがイスラエルの民に告げた決別の説教

■彼らを恐れてはならない(3:1~29) \*約束を手にするには、神への信仰と従順、勇気が必要。

- ①「彼らを恐れてはならない」…神は勝利を約束してくださっているゆえに、恐れる必要はない。
- ②「すべての国々にも同じよう」…あなたがたのために戦われるのは、あなたがたの神、主である。
- ③「主に懇願して言った」…モーセはこの大いなる旅路の結末を見届けたいと神に願った。
- ④「受け継がせるからだ」…モーセの使命は、神の計画、すべてを次世代に委ねることである。

■近くにおられる神(4:1~24)

1. 現在 — 今、イスラエルよ(4:1~3)

- ①「今」…旅が終わり、約束の地を目前にして、過去と未来のいずれとも連続する「今」のこと。
- ②「聞き…行いなさい」…主のみことばは、それに聴き従い、それを守る者たちを生かす。
- ③「掟と定め」…主が民に命じておられるすべての命令と、民が守るべきすべてのこと。
- ④「主の命令」…神のことばは忠実に守られなければならないし、一字一句おろそかにできない。

2. 過去 — 神、主にすがってきたあなたがたは…(4:4~8)

- ①「すがってきた」…訳語としては上品すぎる。むしろ、「しがみついていた」とした方がよい。
- ②「守り行いなさい」…神の掟と定めを守り行うなら、諸国の民はあなたがたに驚嘆する。
- ③「いつも近くにおられる」…私たちの神、主は私たちが呼び求めるとき、いつも近くにおられる。
- ④「偉大な国民」…みおしえのすべてのように、神の正しい掟と定めを持っている民。

3. 未来 — それらを、あなたの子どもや孫たちに…(4:9~24)

- ①「知らせなさい」…親たちは、主の掟と定めを子どもや孫たちにも知らせなければならない。
- ②「十のことば(十戒)」…主はご自分の契約を民に告げて、二枚の石の板に書き記された。
- ③「気をつけなさい」…主は民が彫像を作り、それを礼拝することがないように警告される。
- ④「ねたみの神である」…神はご自分の民を「焼き尽くす火」のごとく、激しく愛される。

まとめ:

- ①あなたの信仰生活を振り返って、主がともにおられると思ったのはどんな時ですか。
- ②これからの信仰生活において、主はあなたに何を命じ、何を約束されていますか。
- ③今、あなたはどのような信仰生活を送りたいと思いますか。どんな希望がありますか。

「主を呼び求める者すべて、まことをもって主を呼び求める者すべてに、主は近くあられます。」

(詩篇145:18)